

支部だより

令和8年4月
第107号

新年度を迎え、穏やかな春の訪れとともに、皆様におかれましては益々のご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より建築士会の活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

近年、建築を取り巻く環境は大きく変化しており、安全性や環境配慮、地域との調和など、私達建築士に求められる役割はますます重要となっております。

本年度も、会員相互の連携を深め知識と技術の向上に努めるとともに、地域社会に貢献できる有意義な活動を展開してまいりたいと思います。会員みなで力を合わせて突き進んでいきましょう。本年度も、どうぞよろしくお願い申し上げます。
(副支部長 長尾 淳一)

令和8年度 第63回 加古川支部通常総会

加古川支部通常総会は4月25日(土)、下記により開催いたします。

支部総会は1年間の支部活動を総括し、今年度の活動方針を決定する重要な場です。多くの方のご出席をよろしくお願いいたします。

※ ご出欠の連絡は、同封のハガキにご署名のうえ、4月13日(月)までに、投函してください。

※ 委任状は出席の場合、無効といたします。

記

(1) 総会

日時：4月25日(土) 18:30~19:15
(受付は18:15~)

場所：東播磨生活創造センター2F 会議室
加古川市平岡町寺家町 97-1

※ 総会には同封の総会資料を持参して、ご出席ください。

(2) 懇親会

日時：4月25日(土) 19:30~21:30
場所：加古川個室居酒屋 籠り屋 加古川駅前店
加古川市加古川町寺家町 625
TEL 079-427-1151

会費：5,000円

当日連絡先 厚生委員会

竹下孝行 090-7113-1380

永田康貴 080-3764-4179

以上

新年会・新年ボウリング大会 報告記事 その1

ワールドベースボールクラシックでは侍ジャパンは残念ながら準々決勝で敗退でしたが、私は新春ボウリング大会2連覇達成！ということで、今回も記事を投稿させていただきます。

新年会は私も含め22名の方が参加。恒例のピンゴゲームも和気あいあいと進みましたが、コロナ以降大勢での会食が少なくなり、お店も限られてしまうようになってきました。何か新しい趣向を凝らしてもいいかもしれませんね。

ということで何案か、突拍子もない案でもいいとして新しい新年会を考えてみました。

- ・オンライン新年会
- ・高御座登山新年会
- ・温泉入浴新年会
- ・平荘湖一周散歩新年会

う〜ん、そんなにぐっとくる案も浮かばず…。お金をかけずに何か新しい案を、というと難しいですね。

わがアイディアの貧困さにため息一つ…。しょうがないので3連覇を目指しますかね。本年もよろしくお願いいたします。

(会計 島崎淳二)



ボウリング大会の様子

新年会・新年ボウリング大会 報告記事 その2

去る2月7日(土曜日)、ニッケパークボウルにて開催されました「新春ボウリング大会」に参加させていただきました。

夕方17:30ゲーム開始。会場スタッフの方のアナウンス、号令ホイッスルの合図でレーンごと

に起立した第一投球者がそれぞれのヘッドピンを目掛けて投球されました。その第一投目を皮切りに次々と投球されていき、ゲームが進み全員2ゲームを楽しみました。

スコアはともかく、たまにストライクやスペアが決まった時はみんなで喜び合い、とても楽しいひと時を過ごさせていただきました。そんな中、ボウルが横に横にそれていった時、こんな事がありました。横の溝にボウルが落ちて、ガーター確定かと最後まで見届ける事なく控え席に戻ろうとすると、「ボウル戻ってきてるで」と教えていただき、振り返って見ると溝に落ちたはずのボウルがレーンに戻って、ピンを数本倒す場面を見る事が出来ました。

最後まで諦めない精神は随所で大切な事は知っていましたが、それをボウリングのガーターから改めて教えられた気になりました。和気あいあいと楽しめる「新春ボウリング大会」お勧めです。

是非、来年もまたより多くの皆様と楽しみたいと思っています。



新年会挨拶

ボウリング大会の後、会場を加古川駅前の居酒屋に移動して、新年会が盛大に開催されました。

様々な都合でボウリング大会には参加できなく、新年会から参加の士会員も加わり、和やかで明るい雰囲気の中みんなで乾杯！から始まりました。飲み放題でしたので酒豪の方は堪能され、美味しい料理もところ狭しとたくさん並べられ、それぞれに腹を満たされたと思います。また毎回行われる全員参加のピンゴ大会は思考を凝らした景品も手伝っていつも大盛り上がりです。

この場は「建築」に関わる仕事に携わっている(いた)、は共通点であっても、たまたま隣に座られた方から分野・立場など異なる仕事の話やプライベートな話を聞く事ができる貴重な機会、私は毎度毎度心も満たされます。

日常的に様々な事が変化する不安定なこの時代を生きる者にとって心強さを感じる瞬間でもあるのではと思います。このような宴は意義深く、夏の納涼会・冬の新年会には是非多くの士会員の皆

様に御参加いただければと思います。

(広報委員会 副委員長 石野 秀昭)

CLT構造研修見学会のご案内

木質構造の最先端を学ぶ研修見学会を下記の通り開催いたします。 ※ CLT(直交集成材)

本企画は、昨年の研修見学会で訪れた「大阪・関西万博 大屋根リング(CL T構造)」が大変好評であったことを受け、より深く木質構造を学べる場として企画したものです。

見学先の「GREEN able HIRUZEN」は雄大な高原風景と爽やかな気候が魅力の蒜山高原に立地し、

(CLT建築)の魅力と可能性を体感

できる建築

です。真庭市の銘建工業では、

CLT製造ライン見

学のあと、木

質構

造の最新動向に関

する座学、施工事例の紹介など、建築士向けに特化した説明をいただける予定です。

また、昼食は地域の食や自然も楽しめる蒜山高原センターで地元の味覚を味わっていただきます。

(研修委員会 委員長 林 友宏)

記

日時 2026年7月18日(土) 日帰り
行程 08:00 加古川駅北口駐車場 出発
10:30 GREEN able HIRUZEN (CLT建築) 自由見学
11:30 蒜山高原センター 昼食
13:00 銘建工業 工場見学・座学
15:20 道の駅 風の家(休憩・買い物)
18:00 加古川駅北口 到着予定

会費 会員:4,000円 非会員:4,500円
(バス代・昼食代を含む)

募集人数 約15名(先着順)

使用バス 小型観光サロンのバス(23名)

申込締切 2026年6月15日(月)

申込・問い合わせは4面よりお願いいたします。



2月11日開催の歴史的建築の「読む力」を磨く～温故知新～本部女性委員会企画 姫路文学館「望景亭」講演/見学会 に参加して

見学会チラシを見て、30数年前に安藤忠雄建築を見に姫路文学館に行ったことを思い出しました。建物は傾斜地を利用して細長いスロープが2階エントランスへと導いています。そこを歩くにつれ2方向の外壁意匠が変化し、建物際の水面に映る外壁と影に「新建築」を感じたものです。ひとしきり見て回った後、エントランスから一段下がったところに放置されたような家屋があるのに気付きました。立ち入り制限の柵があり、周辺の樹木は茂り放題、屋根も外壁も相当に傷んでいます。あれが修復整備中の旧濱本家住宅「望景亭」だったのかと思い当たりました。当時気になりながら見れなかったこともあり、見学会に参加しました。

望景亭の解説と現地説明は、本会の西嶋宣久副会長です。西嶋副会長は堂宮大工の一派「大都流」を継承する西嶋工務店で姫路城大天守保存修理工事他、文化財、伝統木造建築の設計施工に従事されています。ちょうど私が姫路文学館を訪ねた頃、望景亭修復の設計施工を担当されていたのです。これも一つの縁でしょうか。



さて、講義では、建物配置と庭の関係性の妙、各棟の配置をずらし、庭に面した縁側、廊下で雁行形に接続させ庭の眺望を楽しむのが日本建築である。和室には自然を素材とした意匠が取り入れられている。最初の数寄屋普請が完成したのは400年ほど前、それが何故、現代に至るまで生き残っているのか。数寄屋普請では各室を自由に組み合わせ、自分の好む機能的な建物に出来る。数寄屋普請では、正式と言うものが無く、床、欄間、建具の意匠についても限りなく変形がある。誰もが新しいデザインを創り出そうと努めてきた。

本講義のテーマ「温故知新」とは、古いものをただ因襲的に伝えるのではなく、新材料、新技術を積極的に利用するのが数寄屋の精神であり、私たちも現代の数寄屋「何々好み」のデザインを創

らなければなりませんと締めくくられました。

現地説明は、望景亭と揮ごうされた扁額の棟門をくぐり、庭から茶室棟、和室棟へと外観を眺め、待合棟では腰を下ろして庭の景色と外観の妙を楽しみました。彫刻細工が見事な唐破風屋根の玄関から内部に入り、雁行する廊下、縁側を渡って茶室、大広間の和室を見学。内装は自然を素材とした意匠が端正に造作されています。

興味を覚えた方は、入場無料で見学できますので、近代和風建築の華、数寄屋普請の真・行・草の造作を見ていただきたいと思います。

※ 望景亭：播州姫路を代表する実業家濱本氏の別邸として、大正から昭和初期に建てられた近代和風建築の一部を残し修復公開しています。

(顧問 小西 敏文)

ええはなしやん

第86回

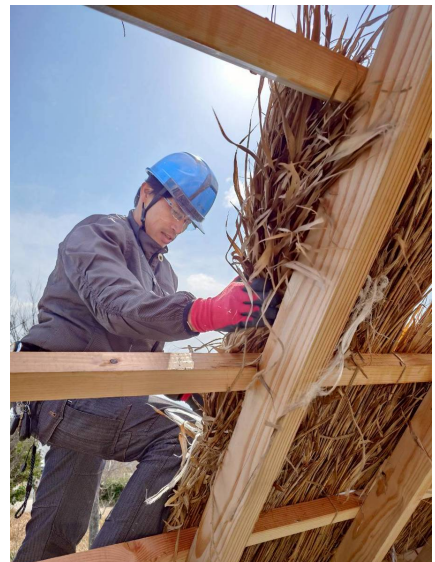


地域貢献活動について

現在青年部では、地域貢献活動の一環で、松風公園のすぐ近く、加古川河口の「しおかぜ小道」にある東屋の屋根の葺替えに取り組みんでいます。

地産地消を目指し加古川流域の環境保全に貢献しようというテーマで、加古川河川敷に生えている葦を刈り、それらを屋根材として活用しようとしています。昨年の9月に東屋の小屋組みを行い、10月に実際の茅葺き屋根の建物を見学など行ってきました。

昨年未から2月に数回にわたって河川



敷の葺刈りを行っています。葺の生育があまり思わしくないうえ、参加者の都合もなかなかつきにくい状況で、なかなか苦心しておりましたが、3月7日に実際に東屋の屋根を葺くことになりました。



一昨年に京都・美山町にて茅葺き体験をしましたが、時間が経っていることと、何もお膳立てがされていない状況からの屋根葺きは、なかなか思うように進まないものでした。そうしてようやく皆で試行錯誤しながらなんとか1列だけ葺いたところで次回に持ち越しとなりました。

普段の仕事では取扱う工法ではないうえ、実際に自分たちが行うとなると、何ともままならないものだと思います。

材料調達のため、また来年の冬にも葺刈りが必要だと思います。引き続きこの活動を行ってまいりますのでよろしくお願いいたします。

(青年部 部長 東田 洋一)

編集後記

「出逢いは運命を変える」こんな言葉に出逢いました。出逢いには次のような傾向があります。

- 求めなければ出逢いには恵まれない
- 実は身の周りに出逢いはいっぱいある
- よき出逢いは発展し、巡り合い、様々な縁が育まれる

建築士会でも出逢いはいっぱいあります。

総会・懇親会・納涼懇親会・研修会・新年会他県の事業などなど。

よき出逢いを求めて、ぜひ総会に参加し、その後の懇親会に参加しませんか。島崎さん、石野さんに新年会・新年ボウリング大会の記事を書いていたいただきましたが、なかなか楽しいですよ。

さて、今回の記事では、研修委員会の「CLT構造研修見学会のご案内」が注目です。本企画は、昨年の研修見学会で訪れた「大阪・関西万博 大屋根リング（CLT構造）」が大変好評であったことを受け、より深く木質構造を学べる場として企画したものと心に響く言葉。林委員長さすがです！

顧問の小西さんに『本部女性委員会企画姫路文学館「望景亭」講演/見学会』の記事を投稿いただきました。ありがとうございます。

青年部の「地域貢献活動」は、いつも素晴らしく、記事を楽しみにしていますが、大変さも伝わってきます。これからも支部だよりに、会員の皆様へ経過を伝えていただきたいと思います。

最後に、もう一度、「出逢いは運命を変える」総会や懇親会にまた、研修会に参加して「出逢い」を求めてください。運命が変わります。

(広報委員会委員長 高橋 賢吉)

※同封のハガキに出欠の返事と委任状にご署名（出欠に関わらず）をお願い致します。

※「出欠委任状ハガキ（総会及び懇親会）」は4月13日までにご投函ください。

連絡・参加申込書

メールかFAXで送付してください。（郵便も可）

※ 住所・連絡先等の変更は必ずお知らせ下さい。（個人情報保護法に基づき管理致します）

事業名	会員・非会員	氏名	緊急連絡先
CLT構造研修見学会			
連絡事項 総会及び懇親会の出欠については、出欠委任状ハガキにて返信ください。			

公益社団法人 兵庫県建築士会 加古川支部

事務局／吉備建築設計室内 Tel,Fax 079-423-6350

支部長 坂上 浩司 直通 TEL：090-8750-9055

E-mail：kentikusikai.kakogawasibu.2025@gmail.com

